

CONTENTS

- 研究委託校・実践校の紹介
- 今年度の調査課題研究について
- 冬季研修講座のご案内

研究委託校・実践校の紹介

洞爺湖町立洞爺湖温泉小学校

公開研究会 7月18日(金)実施済み

洞爺湖温泉小学校では、児童の主体性と表現力を高めるために、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を軸として、授業の導入、展開、終末における効果的な指導法について、実践を積んでいます。

今年度は、「学習ゴールの提示」「交流の目的や話型の提示」「振り返りの充実」の3点について学校全体で取り組むとともに、各教員の実践を交流するなど、研究主題に対する様々なアプローチについて研修を深め、日々の授業づくりに活かしています。

主体的に学び、表現できる児童の育成

～個別最適な学びと協働的な学びを通して～



5年特支 算数科

「合同な図形」
本時の目標や学びの見通しを確認しているところ



6年 国語科

「楽しみは」
短歌の例を見ながら、よさを交流しているところ

壮瞥町立壮瞥小学校

公開研究会 今年度予定なし

子どもに委ねる ゆるく深い学び

～自立した学習者を育成するための授業改善～

壮瞥小学校では、児童の実態に合わせ、令和の時代に求められる「子どもたちの自立を促し、可能性を楽しむための個別最適で協働的な『学び』の実現」を目指した日常の授業改善に取り組んでいます。学びのゴールを明確にして、学習に関わる多くの決定を子どもに委ね、子どもたちに選択・判断・実行させる「学びの環境づくり」をすることが私たちの役割と考えています。全体研修で共通理解を深めるとともに、小回りの利いたブロック研修、単元丸ごとの授業公開や実践交流会を通して研修の活性化を図っています。



5年 算数科

「合同な図形」
学習のまとめを自分たちで考えているところ



6年 社会科

「国づくりへのあゆみ」
2つの時代の人々の暮らしぶりについて自分なりの視点を定め、比較しているところ

厚真町立厚南中学校

公開研究会 今年度予定なし

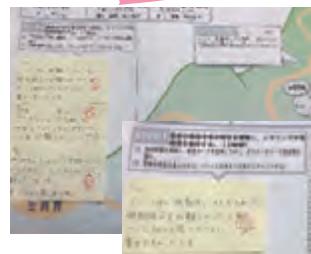
自ら学び、判断し、表現する生徒の育成

～個別最適な学びと協働的な学びの充実化を目指して～

厚南中学校では、「自らの学びを自己調整できる生徒」を目指す生徒像として掲げ、その具現化の手段として自由進度学習を推進しています。

1学期には、全体研修で自由進度学習に関する理論研修を実施し、中学校段階における自由進度学習のあり方について、先生方が主体的に模索しました。全教科での実践および学期末に実施した生徒アンケートの結果から、現在の研究の到達点を確認することができました。

2学期は、自由進度学習の質の向上を目指し、全教科で単元内自由進度学習に取り組むことで、さらに研究を推進していきます。



1年 美術科

「文字で楽しく伝える」
生徒と共有している単元
計画の一例



3年 社会科

「現代社会のしくみ」
話し合ってルール作りを
しているところ

登別市立青葉小学校

公開研究会 今年度予定なし

確かな学力と学ぶ楽しさにつながる、
個別最適な学びと協働的な学びの一体化

本校では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させることで、児童が学ぶ楽しさを実感でき、確かな学力が身に付く授業づくりを目指しています。そのために、単元のデザインを大切にし、従来の一斉授業に加え、個別で学ぶことが中心となる時間や協働的に学ぶ時間を工夫して取り入れています。まずは、各学級で「やってみる」ことを大切にし、教員一人一人が試行錯誤を繰り返しているところです。

今後は、それぞれの取組を全職員で共有し、本校の授業スタイルを確立できるよう、さらに研修を深めてまいります。



4年 算数科

「小数」
自分の進度や理解度をタブレットに入力しながら
学んでいるところ



6年 社会科

「憲法とわたしたちのくらし」
自分に合った学び方を選択して学んでいるところ

白老町立白翔中学校

公開研究会 今年度予定なし

つながる探究型学習—基礎力・応用力、
そして学習意欲の上昇を目指して

- 1、既習事項とつながる…基礎力を養成する探究型学習
 - 2、未習事項とつながる…応用力を養成する探究型学習
 - 3、学習意欲につながる…遊びのおもしろさ、有用性を伝える探究型学習
- と学習活動を3つに分類し、研究を行っています。1と2は各教科で、3は各教科のほか、総合的な学習の時間や諸活動の中で行っています。また、中大連携を含む外部との関わりも積極的に行ってています。昨年度と今年度は、日大、北星学園大、産能大等の大学、国交省、楽天、須賀川特撮アーカイブセンター、苫小牧市美術博物館等と連携を行いながら研究を推進しております。



1年 美術科

「美術館を楽しもう」
ポップカルチャーの文化的、芸術的価値を学んで
いるところ



3年 総合的な学習の時間 郷土学習

「しらおいインパウンド計画」
楽天本社で企業見学とプレゼンテーションをして
いるところ

令和7年度 胆振教育研究所

今年度の研究について

今年度の「調査課題研究」の内容について紹介します。

「学年・学級経営」のアンケート調査

苫小牧市、室蘭市を除く胆振管内で学年・学級経営に携わっている先生方に、アンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。学年・学級経営に関する各種連携について調査し、実態や課題などについて把握したいと考えています。現在、実施したアンケートの集計作業を進めています。

<調査課題研究の内容>

- ①学年・学級経営で大切にしていることと現状の自己評価
- ②育てたい子ども像と指導への意識
- ③心理的に安全な学年・学級づくり
- ④学年・学級づくりにおけるデータ・ツールの活用
- ⑤学年・学級経営案の活用とチームでの取り組み
- ⑥保護者との連携・今後の研修ニーズ

2月末に調査課題研究紀要を発行する予定です。

令和7年度 胆振教育研究所

冬季研修講座のご案内

講座名：一人一人の子供を主語にした授業づくり

日 時：令和8年1月7日（水） 10：00～

形 式：会場とZOOMのハイブリッド方式

対 象：小・中学校の教員

会 場：登別市観光交流センターヌプル及びZOOM配信

※詳細につきましては、後日送付する要項をご覧ください。



【研修講座 問い合わせ先】

胆振教育研究所 所員（伊達市立伊達中学校 主幹教諭 中島 正義）TEL0142-23-3055

研究所所在地変更のお知らせ

この度、本研究所が所在していた「のぼりべつ文化交流館カント・レラ」が9月30日(火)をもって閉所となりました。これに伴いまして、10月1日(水)から来年3月31日までは、連絡所在地を「登別市立鷺別小学校内」に変更いたしますので、ご承知おきくださいますようお願いいたします。

なお、来年度以降本研究所の所在地が確定するまでは、事務局長の勤務校となりますことを合わせてお知らせいたします。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

年度内の所在地

登別市立鷺別小学校内

〒059-0034 登別市鷺別町4丁目36番地21

電 話：0143-86-7011

F A X：0143-86-2817



■ 発行所 胆振教育研究所 電話：0143-86-7011 FAX：0143-86-2817
ホームページ <http://www.iburi-education.jp>

登別市立鷺別小学校内 〒059-0034 登別市鷺別町4丁目36番地21

■ 代表者 佐藤 淳

■ 印刷所 (有)村上印刷 〒052-0026 伊達市錦町95番地1 TEL0142-23-2625 E-mail murakamiprinting@amber.plala.or.jp



所報 いぶり